



愛川ふれあいの村6月の風景

平成23年 6月 自然のたより

春を過ぎ、梅雨の季節になりました。光が雨粒に反射し、晴れの日には見れない美しい木花や、雨のにおいを感じることができます。雨の中でも鳥たちは元気に鳴いているので鳴き声も聴けます。

＜6月の自然のエピソード＞
ミズキ、ヤマボウシ、オニグルミなど、きれいな花を咲かせていた草木に実がなり始めました。熟してきた実が多く、その実をつつく鳥がみられるようになりました。葉についていた昆虫のたまごも孵化し、蛹も成虫になっている最中です。



きれいに咲いたヤマボウシ
秋には赤く熟した実がなる



雨の日の「ミスジマイマイ」
ゆっくり動いているがいがいと移動距離は長いです



「ミズキ」の実



こちらを見ているテトウムシ



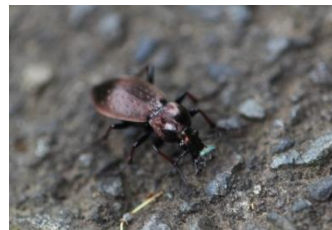
シナサワグルミ



カハムシが蛹から生まれる所



雨粒とマツカゼソウ
すてきなカゼソウをまとっています



森の掃除屋さん「カハムシ」



孔雀の羽のような「カザヤギ」



カハムシがカタバミに
蜜を吸いにきた



ヒメシャラ



雨の日のカハムシのゆりかご



アリに似た「アリグモ」
この擬態は何のために？



2匹のヒヨドリ
子育て中でしょうか

写真撮影：吉田 編集：葉